

令和8年度事業計画

令和7年8月9日からの記録的な大雨により、新宮町内では道路の冠水、床上浸水や土砂崩れ、下水処理施設である「新宮中央浄化センター（アクア新宮）」の一部が水没するなどの多くの被害が発生し、新宮町シルバー人材センターが新宮町から指定管理者の指定を受けている「福工大前駅自転車駐車場」も浸水被害に遭うなどしました。あらためて、会員の安全就業のために、危機管理、災害発生時の対応について日頃から備えておくことの大切さを再確認したところです。令和8年度も引き続き、会員が健康で安全に就業できるよう努めてまいります。

さて、日本は総人口の減少が続く一方で、65歳以上人口は増え続け、18年後の2043年には、高齢化率約35%となり、日本全体で3人に1人が高齢者となると推計されています。さらに令和7年(2025年)は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、社会保障制度のひっ迫などが懸念される「2025年問題」が本格化する中、シルバー人材センターは「就業を通じた社会貢献」、「生きがいづくり」、「居場所づくり」という重要な役割を担っています。また、地域における多様な雇用・就業機会の確保という点において、企業の雇用確保措置(定年延長・継続雇用制度等)にはない就業ニーズの受け皿となっています。

このようなシルバー人材センターの活性化のためには、会員拡大が必要不可欠です。会員はシルバー人材センター組織の基盤であり、安定した事業運営の根幹です。働きたい高齢者の増加に対応して、センターは、働きがい、生きがいを提供し、会員が地域の担い手、働き手として活躍することで、地域で頼りにされ、存在感のあるシルバー人材センターになるという、センター発展の好循環を生み出すからです。

ところが、全国のシルバー人材センターが抱える大きな課題が、コロナ禍以降の会員数の激減であり、平成21年度の全国の会員数791,859人をピークに年々減少傾向が続き、令和6年度末673,942人、平成21年と比較して117,917人の減と下げ止まらない状況が続いています。同様に、福岡県全体でも会員は減少傾向にあります。令和6年3月末23,588人から令和7年3月末23,439人と全体で149人の減少となっています。一方、男女別にみると男性会員が236人の減、女性会員は87人増となっています。この傾向は、全国でも同様で、女性会員はプラスで推移していますが、男性会員の減少幅が大きいということになります。

県全体では、令和6年度末で県下42センター中23センターが会員減となる中、当センターの会員数はここ数年増加傾向にあり、令和6年度末会員数239人が、直近の令和8年1月末現在245人となり、6人増となっています。これは、全国シルバー人材センター事業協会が令和7年度から取り組んでいる「新たな仲間づくり計画～10万人純増計画」によって全国各センターに割り振られた目標数(新宮町シルバー人材センター目標数・令和12年度末までに37人増。6年間平均で毎年6人増)を達成しているところです。今後も「そぴあしんぐう」での入会説明会を継続するとともに、日々の町民のご相談や企業等からの問い合わせ等に丁寧に対応し、着実な会員増に努めてまいります。また、ターゲットを絞った会員拡大策として、女性会員の入会促進、団塊の世代の退会抑制のために、女性会員の交流会やシルボヌ活動への積極的な参加、就業だけではない会員同士の交流の場としてサークル活動を通じた仲間づくりなどに取り組みます。

次に安全就業に関しまして、令和6年度末事故発生件数は21件、令和7年度は直近の令和8年1月末22件とすでに前年度を上回る件数となっています。また、会員一人当たりの粗発生率(事故件数÷会員数)は、県下全センター中、3番目の高さとなっています。このような状況で、令和7年5月には、県シ連合会実施の安

全パトロールによる指導を受け、また当センターの安全就業委員会による定期的な安全パトロールを実施し、9月には安全意識の徹底と高揚を図るために第一回安全大会を開催したところですが、事故発生件数は減とはなっていません。そのため、令和8年度は、事故防止対策の取り組みを強化するために令和6年度から理事会及び安全就業委員会で検討を重ねてきた「ペナルティ制度」を導入します。また、第二回安全大会の内容を充実し、会員の安全意識の向上に努めてまいります。

センターの地域貢献活動として、4月の「新宮町クリーンアップ作戦」に、多くの会員にご参加いただきました。また、令和5年度、6年度と参加した「まつり新宮」は、参加者、売上金額ともに増え、売り切れも続出したという中、令和7年度は「実行委員会」を立ち上げ、会員主体で参加準備を進めていましたが、残念ながら8月の大雨災害の影響により中止となってしまいました。令和8年度は、前年度分までしっかりと準備をして参加したいと考えています。

最後に、令和7年度初めて開催しました「新宮町シルバーフェスティバル」についてですが、会員間の交流、新規会員入会案内を目的にシルバー人材センターの活動を広く町民に知っていただくために開催したところ、多くの方々がご参集され、ご好評いただきました。令和8年度は、さらに多くの会員、会員以外の方にご参加いただけるよう準備してまいります。

令和8年度も総会をはじめ、様々な行事・イベントがございますので、会員の積極的なご参加をお願いいたします。

（基本方針）

シルバーセンターは、「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき会員が主体となって運営する組織であり、定年退職者などの高齢者に、「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他の軽易な業務に係る就業」を提供するとともに、ボランティア活動などの社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上と活性化に寄与することを目的とした事業展開を図るため、次の事業を実施します。また、定款及び規定等に沿った適正な法人運営に努めます。

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援

1. 就業開拓提供等事業

（1）受託事業

センターは、地域社会の日常生活に密着した「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他の軽易な業務に係る就業」を家庭、事業所、地方公共団体等から請負又は委任により有償で引き受け、これを会員に請負又は委任により提供します。会員はその仕事を完成又は事務の処理をすることによって、仕事の内容と就業の実績に応じて配分金を受け取る仕組みで運営します。

令和8年度見込み

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
170人	15,000人日	70%	91,087千円

主な就業分野

- ・個人宅における剪定作業、除草作業
- ・個人宅での家事全般、および清掃等の家事援助サービス
- ・町内企業等の軽作業、清掃作業
- ・町内企業等の緑地管理作業
- ・町内公園、空き地等の除草作業
- ・公共施設等での窓口業務、清掃作業

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1. 職業紹介事業

連合会の職業紹介の事業所として、センター事務所内に連合会新宮町実施事務所を置き「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他の軽易な業務に係る就業」の求人を受付け、就業を希望する高齢者に対して必要な情報提供・相談・助言等を行い、有料の職業紹介事業を実施します。

2. 労働者派遣事業

連合会の労働者派遣事業の事務所として、センター事務所内に連合会新宮町実施事務所を置き「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他の軽易な業務に係る就業」の範囲において、派遣労働を希望する高齢者を対象に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、労働者派遣事業を実施します。

新宮町事務所 令和8年度見込み

就業実人員	就業延人員	雇用就業率
25人	1,500人日	70%

主な就業分野

- ・町内企業の日直業務、伝票入力等
- ・就業先企業の環境整備等

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及活動、情報提供、研修、講演、相談、助言、調査研究等（公共目的事業）

1. 普及啓発事業

センター事業への理解が得られるよう、町民及び事業所に対し、センター事業の目的と具体的な取り組み等を周知するとともに、高齢者自身のセンター事業に対する意識啓発を行う。

- ① 町広報誌への掲載
- ② イベント会場にてチラシ配布

2. 安全・適正就業推進事業

安全な就業は事業運営の基本であり、また、センターは公的な目的に基づいて設立された法人であり、法令遵守及び適正な事業運営が求められていることから適正就業対策を推進する。

① 定期的な安全就業委員会及び適正就業委員会の開催

- ・安全委員による作業現場のパトロールの実施
- ・センター会員の就業中等の事故について、連合会作成「安全就業ニュース」や他センターの情報等から、センターの事故防止策の策定
- ・安全講習会等の実施
- ・適正就業に関するセンターの実態の把握・対応策の検討

② 作業班別に作業前安全ミーティングの習慣化

③ 会員全員の健康診断受診の奨励

3. 相談業務

①就業相談等の実施

高齢者の就業及びその他の社会参加活動を推進するため、会員及び地域の高齢者に対する随時就業相談等に対応する。

②入会説明会の開催

- ・月1回第3水曜日に開催している入会説明会は継続開催
- ・女性会員の拡大策の検討及び実施

4. 研修・講習事業

①会員及び地域の高齢者を対象に、センターでの就業に必要な技能講習等を実施し、実際の就業に結びつけるとともに、より広い就業分野での仕事の確保と提供及び会員拡大に繋げる。

②既会員のスキルアップに役立ち生きがいを感じるような体験型講習を実施することで、既会員の活性化を図り、既会員の口コミから会員獲得に繋げる。

5. 調査研究事業

①理事長等による企業訪問の実施

- ・既契約企業を訪問し、シルバー事業の理解に対するお礼、会員の就業状況を把握するとともに新規就業の開拓及び情報収集を行う。
- ・町内の既契約企業以外の新規企業を訪問し、シルバー事業の説明と新規就業の開拓及び情報収集を行う。

②センターを紹介する広報媒体の制作及び配布

センターは剪定・草刈りをやっているところとのイメージが先行しているので、センターが実施している具体的な就業事例を紹介する広報媒体を制作・配布することで新規就業先の開拓に繋げる。

以 上